

# 大阪湾漁場環境速報

平成20年 3月 6日発行  
兵庫のり研究所

陸水等の影響があった神戸市沖～湾奥部にかけて、窒素濃度は以前に比べて上昇していましたが、ユーカンピアが再び増加していました。また、スケルトネマ等の小型珪藻も多く認められました。今後も珪藻・栄養塩動向に注意が必要です。またその他、詳細は、本日(3/6)発行の珪藻赤潮情報(K0-19-6号 大阪湾)をご覧ください。  
**(水温)** 表層は湾内8～9 台で、平均8.7。 平年(過去10年平均 9.5)比0.8、昨年(11.1)比2.4 それぞれ低い。 -10m層は平均8.7 で、平年(9.6)比0.9 低い。  
**(塩分)** 表層平均31.80psu(平年 31.52)。 -10m層平均32.81psu(平年 32.19)。  
**(栄養塩、他)** 表層の窒素濃度は平均5.6 μg-at/L、リン濃度は平均0.21 μg-at/L。窒素・リンとも平年(7.5, 0.24)より低い値を示している。 -10m層(平均)は、窒素2.6 μg-at/L、リン0.28 μg-at/L。陸水等の影響を受けていた神戸市沖～湾奥部の表層で、窒素は高い値を示したが、リンは著しく低い値を示している。神戸市沖～湾奥部では、減少傾向にあったユーカンピアが再び増加していた。また、同海域では、以前から見られたキートセロスの他、スケルトネマやタラシオシラ等の小型珪藻も出現しており、種組成に変化が見られる。その他の海域では、珪藻の発生量は少ない。また、珪藻の他、夜光虫や渦鞭毛藻類も一部で多く認められた。また透明度は2.5～12.0 mで、平均7.5m。 pHは表層平均8.48。

上段(今回値)	平成20年3月5日調査
中段(昨年値)	平成19年3月8日調査
下段(平年値)	

調査地点	水温( )	塩分(psu)	三態窒素(μg-at/L)	磷酸(μg-at/L)
04	9.6	33.05	2.7	0.39
	12.4	33.00	3.9	0.37
	10.7	32.74	5.5	0.36
05	8.5	32.76	1.4	0.27
	11.2	32.32	3.5	0.35
	9.4	31.95	5.1	0.22
06	8.0	30.98	7.4	0.09
	11.0	32.31	3.6	0.36
	9.3	31.86	5.5	0.27
07	8.6	32.84	1.4	0.28
	11.2	32.33	3.7	0.36
	9.5	32.11	3.6	0.22
08	9.0	32.90	1.8	0.31
	11.3	32.42	3.6	0.33
	9.9	32.32	4.3	0.27
09	9.5	33.04	2.3	0.36
	11.3	32.36	3.5	0.33
	9.8	32.34	4.2	0.27
010	8.5	32.45	2.0	0.21
	11.0	32.06	1.4	0.12
	9.2	31.69	4.6	0.15
012	8.5	31.77	5.3	0.10
	10.9	32.19	3.5	0.50
	9.3	30.85	11.0	0.22
013(沖)	8.4	31.03	10.0	0.17
	9.1	30.77	15.4	0.25
	8.5	29.45	14.1	0.09
016	10.9	31.97	5.2	0.24
	9.0	29.34	17.8	0.21
	8.4	29.32	19.8	0.30
017(沖)	9.1	29.67	44.2	0.64
	8.5	31.09	7.5	0.08
	10.7	30.58	7.1	0.11
018	9.2	27.25	35.1	0.44
	8.0	30.28	10.9	0.08
	11.1	32.32	3.3	0.34
S1	9.1	30.74	9.3	0.21
	8.4	29.49	14.4	0.10
	11.0	32.33	4.0	0.37
S2	8.9	29.98	13.9	0.17
	8.6	31.37	7.2	0.09
	8.5	32.74	2.0	0.25
S3	9.5	31.34	7.4	0.19
	9.0	32.99	2.3	0.38
	12.1	32.85	3.7	0.35
S4	10.5	32.45	5.1	0.32



